

1190 | 日本画V

2単位（通信授業1単位、面接授業1単位）

重政啓治教授、山本直彰教授、神彌佐子講師、東俊行講師、星見講師、和田雄一講師

授業の概要と目標

和紙、絹本等、様々な支持体の研究を通して日本画表現を学ぶ。静物や自由な発想によるテーマをもとに描画材との関係と幅広い独自性のある表現法を知り体感することで、素材の重要性を知る。

通信授業では、和紙の特性を知り、染める、加工する等の支持体を考察したものを利用して制作する。面接授業では、基本としての絹の扱い方を学び、制作する。

課題の概要

○通信授業課題「素材と技法」

天然染料としての草木などや化学染料を利用して和紙を染める。更に、それを支持体とし、静物などをモチーフに日本画制作をする。

- ・身の回りにある染料を用いて和紙を染める。
- ・染めた和紙を使い、日本画制作をする。

○面接授業課題「絹に描く」

尺八サイズの絹本に日本画制作をする。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『日本画Ⅲ～Ⅴ 平成29年度』の「日本画Ⅴ」、教科書『日本画・表現と技法』の「自由に描く」、『現代日本画の発想』をもとにした授業。

[面接授業]

第1日	午前：前提講義及び制作	午後：制作
第2日	午前：制作	午後：制作
第3日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 「日本画Ⅳ」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備 考] 油絵学科日本画コース3年次必修科目。

「日本画Ⅲ」、「日本画Ⅳ」、「日本画Ⅴ」は、ローマ数字の順に学ぶことで学習効果が上がるように授業内容が設定されている。ただし、スクーリング日程の都合などにより順序通りの受講ができない場合は、受講順序は問わない。

教材等

教科書：『日本画 表現と技法』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

『現代日本画の発想』（武蔵野美術大学出版局 2004年）

学習指導書：『日本画Ⅲ～Ⅴ 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）